

## < 歯科衛生学科同窓会みなづき会より会員の皆様へのお知らせ >

今般の新型コロナウイルスの影響により例年実施しております「みなづき会新聞」の発行・発送事業およびみなづき会主催の「研修会」事業を**中止**することといたしました。

新入生を迎える時期を過ぎてなお、短大自体が休講している状況下において編集・発行作業および発送作業は困難であり、見通しのつかない状況においての新聞の内容は薄くならざるを得ません。本部各委員で検討を重ねた上での結論とさせていただきます。会員の皆様にはご理解・ご了承をいただきたくお願い申し上げます。

それに伴い年末から4月初旬までにご執筆・寄稿いただきました卒業生7名の方の原稿等はそのままお預かりさせていただき、次号26号にてそのまま掲載させていただきます。その旨もよろしくお願い申し上げます。

また下記にみなづき会会長 経塚直子より4月16日に新聞の挨拶文として承ったものの抜粋を許可のもと、掲載させていただきます。

「皆様この1年、元気でお過ごしでしたでしょうか。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で世界中が混乱を極め、先行きがよめない大きな不安を抱きながら毎日をお過ごしのことと思います。

歯科医療の現場でも感染リスクに怯えながらも医療従事者として使命感を持ち治療をされている方に、この場をお借りして賞賛をお贈りしたいと思います。

また、家庭に入られ医療従事者としては何もしていないという方は、3密(密集・密閉・密接)を避けるため不自由で閉塞感を感じる日常を耐えることが一番のコロナ撲滅のための貢献とだけ思っていたらと思います。

私の働いている杉並区民の方には、このような時だからこそ今までできなかった家の仕事ができる、仲間同士がメールのやり取りでお互い励ましあっている等、前向きなお考えの方が多いように思います。このみなづき会新聞を読まれた皆様も、同級生のことを思い出し連絡等してみても如何でしょうか。

この状況が終息し、また皆様と研修会等が開催できることを祈っております。」